

2024年度 環境経営レポート

株式会社 タクミツ

対象期間 2024年1月～2024年12月
レポート発行日：2025年1月27日



1. 組織の概要に関する情報

事業所名及び代表者名	株式会社 タクミック 代表取締役 成尾 勝則						
所在地	〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名3277番地14 HP http://www.tacmic.com						
環境管理責任者 及び担当者連絡先	山田 薫 連絡先 電話042-713-3661 FAX042-713-3662						
事業活動の内容	樹脂製品を中心とした試作/製品の受託開発業務/ 樹脂製品の成形関連業務						
事業の規模		単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	生産量t	t	0.50	0.45	0.64	0.40	0.34
	売上高(内製)	百万円	128.26	126.14	134.00	131.89	105.79
	従業員	人	18	21	19	17	17
	床面積	m ²	448	448	448	448	448

2. 対象範囲

対象範囲(認証・登録範囲)	本社・工場 樹脂製品を中心とした製品の試作、製品の受託開発業務、樹脂製品の成形関連業務
レポートの対象期間 及び発行日	レポート対象期間 2024年1月～2024年12月 発行日 2025年1月30日

3. 環境経営方針

基本理念

株式会社 タクミックは、樹脂製品の設計や試作品製造、受託開発の関連業務を通じて、
お客様に情報やサービスの提供を目的とし、
地球環境の保全や環境負荷を低減するための、環境経営システムを構築、
社員ひとりひとりが達成すべき目標に知恵を出し、環境保全活動に継続的に取り組み、
ものづくりを通じて地球環境への負荷の低減、そしてすべてのことに前向きに努めてまいります。

- 1 環境保全に適した製品・材料の購入(グリーン購入)及び販売に努めます。
- 2 二酸化炭素排出量削減、省資源(節水)を図り、地球温暖化防止に努めます。
- 3 廃棄物、化学物質使用量の削減と資源の再利用を推進します。
- 4 達成すべき目標、目的を設定し全社員に周知徹底すると共に環境経営方針を公開します。
- 5 環境経営システムを継続的に改善し、環境保全対策を推進します。
- 6 環境に関する法規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
- 7 環境教育を通じて、全社員に環境方針を周知するとともに、環境保全に関する意識の向上を図ります。

2021年4月30日

株式会社 タクミック
代表取締役 成尾 勝則

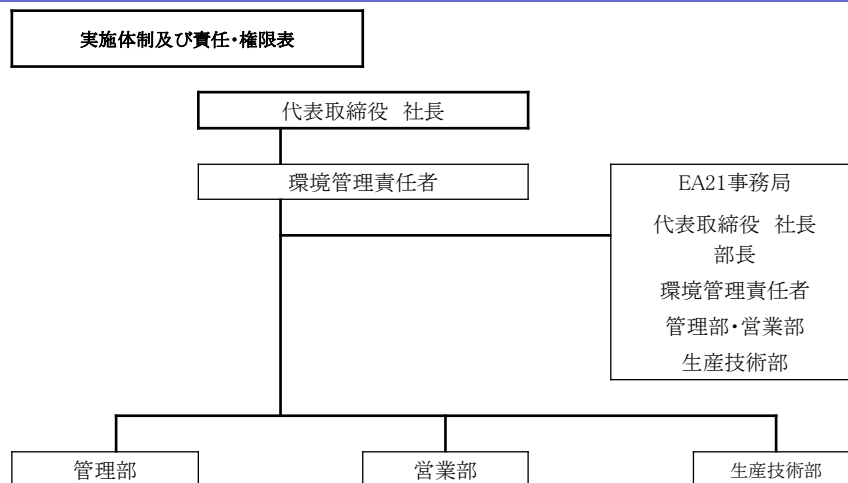
4. 環境経営目標

環境経営目標	基準(実績)	実績		年度目標	中期目標	
	2023年度			2024年度	2025年度	2026年度
1. 二酸化炭素排出量の削減	56877.4 kg-CO ₂			1%削減 56308.7 kg-CO ₂	2%削減 55739.9 kg-CO ₂	2%削減 55739.9 kg-CO ₂
1-1. 電力使用量の削減(1)	113384kWh			1%削減 112250kwh	2%削減 111116kwh	2%削減 111116kwh
1-2. 自動車燃料使用量の削減	20.6km/L 2159.2L			燃費 21km/L	燃費 21km/L	燃費 21km/L
2. 廃棄物排出量の削減	産プラ: 1.56t 廃油: 0.29t			適正分別 マニフェスト管理	適正分別 マニフェスト管理	適正分別 マニフェスト管理
3. 水資源投入量の削減	122m ³			1%削減 120.8m ³	1%削減 119.6m ³	1%削減 119.6m ³
4. 化学物質使用量の削減	シンナー再生量 0.0kg			砥の粉ろ過 再生量集計 (kg)	砥の粉ろ過 再生量集計 (kg)	砥の粉ろ過 再生量集計 (kg)
5. 環境配慮製品およびサービス	歩留まり 97.47%			製品歩留まり 97%	製品歩留まり 97%	製品歩留まり 97%

注(1)購入電力のCO2排出係数 : 0.457 環境省令和5年提出用排出係数

5. 環境経営計画

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容(実施体制)



	役割・責任・権限
代表者	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定と環境経営システムの定期的見直しの実施 3. 経営におけるチャンスと課題の明確化 4. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 代表者へ環境経営システムの実績報告 3. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 4. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 5. 環境関連文書及び記録の作成・整理
EA21事務局	1. 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 2. 環境方針の周知および環境経営システムの実施
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 3. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	1. 環境経営システム活動の参加

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容（1-3月）

評価 ○:達成 △:不十分 ×:未達 -:実績なし

	年度目標	中期目標	施 策	責任者	2023年 年間実績	2023年			2024年			
						1月	2月	3月	1月	2月	3月	
管理	二酸化炭素排出量 基準年より1%削減 電力使用量の削減 基準年より1%削減	二酸化炭素排出量 基準年より2%削減 電力使用量の削減 基準年より2%削減	昼休み消灯 使用していない場所のこまめな清拭 実績電力量 売上高	吉沼 Kwh 万円 kWh/万円	113,384 13189.5 8.6	8,790Kwh ○ 9.6	12,931Kwh ○ 15.1	9,541Kwh ○ 9.5	9,256Kwh ○ 6.2	9,975Kwh ○ 17.9	10,555Kwh ○ 9.8	ピーク電力 R531-38~32kw R631-31~32kw
	総排水量 基準年より1%削減	総排水量 基準年より2%削減	節水の呼びかけ	高山	-	○	○	○	○	○	○	
			使用量	m³	122	10.5m³	10.5m³	10.0m³	9.0m³	9.0m³	11.0m³	
	営業	二酸化炭素排出量 基準年より1%削減 自動車燃料使用量 基準燃費21km/L	二酸化炭素排出量 基準年より2%削減 自動車燃料使用量 基準燃費21km/L	エコドライブ10か条 公共機関利用促進 低燃費車の導入検討 ガソリン使用量 燃費 公共機関利用による削減	尾崎 L km/L 25	2159 20.6 25	134.5L 20.4km/L	178.5L 25.8km/L	231.7L 18.4km/L	181.2L 18.9km/L	162.L 17.2km/L	182.79L 24.km/L
製造	廃棄物等総排出量 廃棄物の適正分別 マニフェスト管理	廃棄物等総排出量 廃棄物の適正分別 マニフェスト管理	廃棄適正分別・マニフェスト管理 シリコン・プラ/紙リサイクル 産廃回収 産廃 腐油	鈴木 t t	5回 1.56 1回 0.29	○ - -	○ - 0.312	○ - -	○ - -	○ - 0.312	○ - -	玩具関連が多く、外観重視案件のため、主にゴミの混入による不良が出ないようシリコン型を組む際に時間をかけて、エアブローやテープの粘着を利用し排除、ゴミ混入を防ぐ対策を行った。生産性は落ちるが、不良品の打ち直し時間と考えた効率UPの効果が高く、ゴミ削減にもつながった。他、不良の原因として、ゴムと樹脂の硬化不良、シリコン型組不備が上げられ、時間を有効に使い、チェック回数を増やすことで、人的ミスを減らし不良とゴミ削減につながる。
	自ら生産・販売する 製品及びサービス 歩留まり 97%	自ら生産・販売する 製品及びサービス 歩留まり 97%	作業改善 歩留まり	鈴木 %	98.16	○	○	○	○	○	○	
	化学物質使用量削減	化学物質使用量削減	水性塗料	鈴木(政)	-	○	○	○	○	○	○	
	との粉過 再生量	との粉過 再生量	ろ過再生量	kg	なし	-	-	-	-	-	-	
	環境経営システムに 関る取り組み整備	更新審査	全体会議での実施説明、教育 ガイドライン事項の整備	山田	-	○	○	○	○	○	○	
	評価・確認 月日	評価・確認者	評価・確認事項(定期、臨時)	評 価 ・ 確 認 結 果 、 コ メ ン ト 、 是 正 処 置 等								
	2月8日 全体会議		環境システム	中間審査の資料ができました。東議通過後申し込みになります。2024-EA21審査用フォルダーの環境経営レポートを一読してください。								
	3月7日 全体会議		環境システム	中間審査は3月19日です。担当の方は昨年と同じです。審査日まで不明点のフォローします。 環境経営方針、行動指針の熟読をお願いします。								
	4月4日 全体会議		環境システム	中間審査は適合となりました。改めて環境経営目標と施策を確認して日々の協力をお願いします。								

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容（4-6月）

評価 ○:達成 △:不十分 ×:未達 -:実績なし

[illegible]

5. 環境経営計画

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容（7-9月）

2024年度環境経営計画・実施状況・評価表

評価　○:達成　△:不十分×:未達　→:実績なし											承認		作成	
											年月日		年月日	
											2024/1/11		2024/1/11	
	年度目標	中期目標	施策	責任者	2023年 年間実績	2023年			2024年					
						7月	8月	9月	7月	8月	9月			
管理	二酸化炭素排出量 基準年より1%削減	二酸化炭素排出量 基準年より2%削減	昼休み消灯	吉沼		○	○	○	○	○	○	ピーク電力 R531-38-32kw R645-42-46kw		
	電力使用量の削減 基準年より1%削減	電力使用量の削減 基準年より2%削減	使用していない場所のこまめな消灯		○	○	○	○	○	○				
			実績電力量	Kwh	113,384	9,574Kwh	10,760Kwh	11,018Kwh	10,013Kwh	12,088Kwh	9,507Kwh			
			売上高	万円	13189.5	883	1146	1177	1035	815	1036			
				kwh/万円	8.6	10.8	9.4	9.4	9.7	14.8	9.2			
	総排水量 基準年より1%削減	総排水量 基準年より2%削減	節水の呼びかけ	高山		○	○	○	○	○	○			
			使用量	m ³	122	10.0m ³	10.0m ³	11.0m ³	9.5m ³	9.5m ³	9.5m ³			
営業	二酸化炭素排出量 基準年より1%削減	二酸化炭素排出量 基準年より2%削減	エコドライブ10か条 公共機関使用促進 低燃費車の導入検討	尾崎		○	○	○	○	○	○			
	自動車燃料使用量 基準燃費21km/L	自動車燃料使用量 基準燃費21km/L	ガソリン使用量	L	2159	165.8L	134.L	252.7L	207.L	213.03L	224.05L			
			燃費	km/L	20.6	18.4km/L	24.2km/L	16.1km/L	21.7km/L	16.8km/L	21.4km/L			
			公共機関利用による削減	L	25	10.L	5.L	-	-	-	-			
製造	廃棄物等総排出量	廃棄物等総排出量	廃棄適正分別・マニフェスト管理	鈴木		○	○	○	○	○	○	7月から9月については、4月から6月に有った過去のトラブル等を参考にし対策を立てて進めることで、ミス最小限で良品を製作。類似形状の仕事が多く経験を活かすことで、製品を安定して製作することができた。しかし、9月は、透明品の不良が多く有り、約2.2kgの不良品が出てしまった。重量のある製品の為、1回のミスでも大きく反映され、ゴミやコストUPとなった。1つ1つの製品に對し使う時間配分の見直しが必要。生産効率もあるが、不良となる要因をいずれかの工法のポイントで抑える事、その判断材料は、過去トラ見直しを徹底し改善していく。		
	廃棄物の適正分別 マニフェスト管理	廃棄物の適正分別 マニフェスト管理	シリコン・プラ/紙リサイクル		紙0.5t	-	-	-	-	-	-			
			産廃回収	t	5回 1.56	-	廃油	産廃	-	-	産廃 0.312			
			産廃	t	1回 0.29	-	-	0.312	-	-	-			
			廃油	t	1回 0.29	-	0.29	-	-	-	-			
	自ら生産・販売する 製品及びサービス 歩留まり 97%	自ら生産・販売する 製品及びサービス 歩留まり 97%	作業改善	鈴木		○	○	○	○	○	○			
	化学物質使用量削減	化学物質使用量削減	水性塗料	鈴木(政)		○	○	○	○	○	○			
	との粉ろ過 再生量	との粉ろ過 再生量	ろ過再生量	kg	0	-	-	-	-	-	-			
環境	環境経営システムに 関る取り組み整備	更新審査	全体会議での実施説明、教育 ガイドライン事項の整備	山田		○	○	○	○	○	○			
評価・確認 月日					評価・確認事項(定期、臨時)							評価・確認結果、コメント、是正処置等		
	8月8日	全体会議	環境システム		7月の電気使用量が昨年比で増えています。猛暑のエアコン使用と生産量が増えてマシン稼働もあるかと思われます。									
	9月5日	全体会議	環境システム		電気、水道使用量が未確定となっています。猛暑が続いていますので空調機器を適切に使用し熱中症に注意して作業しましょう。									
	10月10日	全体会議	環境システム		経過観察、暑さが和らいでエアコン停止日が出てきました。寒暖に注意して使用してください。 マシン可動が先月より300時間ほど少ないのも要因									

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容 (10-12月)

評価 ○:達成 △:不十分 ×:未達 -:実績なし

承 認	作 成
年 月 日	年 月 日
2024/1/11	2024/1/11

	年度目標	中期目標	施策	責任者	2023年 年間実績	2023年			2024年				
						10月	11月	12月	10月	11月	12月		
管理	二酸化炭素排出量 基準年より1%削減	二酸化炭素排出量 基準年より2%削減	昼休み消灯	吉沼		○	○	○	○	○	○	ピーク電力 R524-25~27kw R626-34~26kw	
	電力量の削減 基準年より1%削減	電力使用量の削減 基準年より2%削減	使用していない場所のこまめな消灯			○	○	○	○	○	○		
			実績電力量	Kwh	113,384	7,587Kwh	8,899Kwh	9,184Kwh	6,888Kwh	8,232Kwh	9,498Kwh		
			売上高	万円	13189.5	1627	1183	1209	671	976	1097		
				kwh/、万円	8.6	4.7	7.5	7.6	10.2	8.4	8.7		
	総排水量 基準年より1%削減	総排水量 基準年より2%削減	節水の呼びかけ	高山		○	○	○	○	○	○		
			使用量	m ³	122	11.0m ³	10.0m ³	10.0m ³	9.5m ³	10.0m ³	10.0m ³		
営業	二酸化炭素排出量 基準年より1%削減	二酸化炭素排出量 基準年より2%削減	Eコドライブ10か条 公共機関使用促進 低燃費車の導入検討	尾崎		○	○	○	○	○	○		
					-	○	-	○	○	○	○		
	自動車燃料使用量 基準燃費21km/L	自動車燃料使用量 基準燃費21km/L	ガソリン使用量	L	2159	163.03L	154.42L	240.7L	206.55L	200.L	333.L		
			燃費	km/L	20.6	24.8km/L	20.3km/L	20.km/L	20.9km/L	23.1km/L	17.9km/L		
			公共機関利用による削減	L	25	.L	10 L	.L	40.L	60.L	40.L		
製造	廃棄物等総排出量	廃棄物等総排出量	廃棄適正分別・マニフェスト管理	鈴木		○	○	○	○	○	○	10月は、寸法精度に問題の出る事案があった。良品扱いとなり歩留まりは99%であるが納得のできる仕事はできなかった。11月にそれを踏まえて寸法に意識し取り組んだ点で注意点到に気を取られて別の箇所の寸法が出ていないことに気付かず不良を連続してしまっした。肉厚のミスだったため、寸直しに対応。12月は、物量が多く、数個取などミスが出やすい内容ではあったが、逆にどのようなミスが起きやすいかを事前に合せることで、良い結果を残すことができた。年間通して昨年課題とした記録の活という点で、ミスを削減につながったと思う。	
	廃棄物の適正分別 マニフェスト管理	廃棄物の適正分別 マニフェスト管理	シリコン・プラ/紙リサイクル		-	-	-	-	紙0.4	-	-		
			産戻回収	t	5回 1.56	-	産戻	-	-	-	-		
			産戻	t	1回 0.29	-	0.312	-	-	0.312	-		
			腐油	t	-	-	-	-	0.25	-	-		
	自ら生産・販売する 製品及びサービス 歩留まり 97%	自ら生産・販売する 製品及びサービス 歩留まり 97%	作業改善	鈴木	%	98.16	99.43%	98.94%	98.93%	99.48%	96.40%		98.66%
			歩留まり	%	98.16	99.43%	98.94%	98.93%	99.48%	96.40%	98.66%		
	化学物質使用量削減	化学物質使用量削減	水性塗料	鈴木(政)		○	○	○	○	○	○		
	との粉過再 再生量	との粉過再 再生量	ろ過再生量	kg	0	-	-	-	-	-	-		
環境	環境経営システムに関する取り組み整備	更新審査	全体会議での実施説明、教育ガイドライン事項の整備	山田		○	○	○	○	○	○		
	評価・確認 月日	評価・確認者	評価・確認事項(定期、臨時)	評価・確認結果、コメント、是正処置等									
	11月7日 全体会議		環境システム	毎月の集計をとまとめる時期になっています。担当のかたは数字の確認をお願いします。来期化学物質は施策を考えておきましょう。									
	12月5日 全体会議		環境システム	ガソリン使用料は去年の使用量を超えました。燃費を伸ばすように工夫してください。 電力は通年で減少しています。LED効果と思われます。									
	1月9日 全体会議		環境システム	更新審査の資料作成に入ります。数値の入力がまだの方は17日までに入力をお願いします。									

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

NO.	推進項目	年度目標(2020年基準)	実績	評価	達成・未達成の要因
1	二酸化炭素排出量の削減	1%削減(99%) 56877.4 kg-CO ₂ ↓ 56308.7 kg-CO ₂	54900.1 kg-CO ₂	○	2023年56877.4kg-CO ₂ 2階事務所等照明LED化通年で電力使用量減少・マシン稼働減少
1-1	電気使用量の削減 (二酸化炭素排出量削減)	2%削減(98%) 113384kwh ↓ 112250kwh	107148 kWh	○	2023年113384kwh 2階事務所等照明LED化通年で電力使用量減少・マシン稼働減少
1-2	車燃料の削減 (二酸化炭素排出量削減)	燃費 21 km/L 消費量 2159 L	燃費 20.6 km/L 消費量 2540 L	△	2023年20.6km/L 営業車3台体制維持 遠距離で燃費は伸びている。普通車の燃費は1.5km/L改善
2	廃棄物排出量の削減	維持管理 廃プラ1.56t 廃油0.29t 計1.85t	廃プラ1.25t 廃油0.25t 計1.5t	○	2023年1.85t マニフェスト適正管理 コンテナ1回減、廃油微減
3	水資源投入量の削減	1%削減(99%) 122m ³ ↓ 120.8m ³	116m ³	○	2023年122m ³ トイレ設備交換の効果

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

NO.	推進項目	年度目標(2020年基準)	結 果 確 認	評価	達成の要因
4	化学物質 排出量の削減	シンナー再生量の集計 0.2kg	0.2 kg	×	2023年0.2kg 再生剤の代替え品で再利用範囲が 限られ効果が出ないので施 策を変更する。
5	環境配慮製品および サービス	歩留まり97%	歩留まり98.4%	○	2023年97.47% 仕事内容別手順指示の継続

CO2排出係数は0.457 東京電力令和5年排出係数。

次年度の取り組み

- * 塗装調色工程での作業改善によるシンナー使用量の削減
- * ピーク電力・使用電力の経過観察・維持管理
- * 営業車買い替え及び公共機関利用促進
- * 作業改善、手順教育の継続による歩留まり低減と廃棄量の維持管理

8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標	基準(実績)			年度目標	中期目標	
	2023年度	2024年度		2024年度	2025年度	2026年度
1. 二酸化炭素排出量の削減	56877.4 kg-CO2	54900.1 kg-CO2		1%削減 56308.7 kg-CO ₂	2%削減 55739.9 kg-CO ₂	2%削減 55739.9 kg-CO ₂
1-1. 電力使用量の削減(1)	113384kWh	107148kwh		1%削減 112250kwh	2%削減 111116kwh	2%削減 111116kwh
1-2. 自動車燃料使用量の削減	20.6km/L 2159.2L	20.6km/L 2540L		燃費 21km/L	燃費 21km/L	燃費 21km/L
2. 廃棄物排出量の削減	産プラ:1.56t 廃油:0.29t	廃プラ:1.25t 廃油:0.25t		適正分別 マニフェスト管理	適正分別 マニフェスト管理	適正分別 マニフェスト管理
3. 水資源投入量の削減	122m ³	116m ³		1%削減 120.8m ³	1%削減 120.8m ³	1%削減 120.8m ³
4. 化学物質使用量の削減	シンナー再生量 0.0kg	シンナー再生量 0.2kg		シンナー再生量 集計(kg)	調色作業改善 集計(回数・kg)	調色作業改善 集計(回数・kg)
5. 環境配慮製品およびサービス	歩留まり 98.16%	歩留まり 98.4%		歩留まり97%	歩留まり97%	歩留まり97%

注(1) 購入電力のCO2排出係数 : 0.457 環境省令和5年提出用排出係数

8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

2025年度環境経営計画・実施状況・評価表

評価 ○:達成 △:不十分×:未達 -:実績なし

承認	作成
年月日	年月日
2025/1/10	2025/1/10

	年度目標	中期目標	施策	責任者	2024年 年間実績	2024年			2025年			
						1月	2月	3月	1月	2月	3月	
管理	二酸化炭素排出量 基準年より2%削減	二酸化炭素排出量 基準年より2%削減	昼休み消灯	吉沼		○	○	○				ピーク電力 R631-31-32kw R700-00-00kw
	電力使用量の削減 基準年より2%削減	電力使用量の削減 基準年より2%削減	使用していない場所のこまめな消灯		○ 107,148	○ 9,256Kwh	○ 9,975Kwh	○ 10,555Kwh				
			実績電力量	Kwh					0Kwh	0Kwh	0Kwh	
			売上高	万円	10579	1502	558	1074	0	0	0	
				kwh/万円	10.1	6.2	17.9	9.8	0.0	0.0	0.0	
				高山								
	総排水量 基準年より1%削減	総排水量 基準年より1%削減	節水の呼びかけ			○	○	○				
			使用量	m³	116	9.0m³	9.0m³	11.0m³	0.0m³	0.0m³	0.0m³	
営業	二酸化炭素排出量 基準年より2%削減	二酸化炭素排出量 基準年より2%削減	エコドライブ10か条 公共機関使用促進 低燃費車の導入検討	尾崎		○ -	○ -	○ -				
	自動車燃料使用量 基準燃費21km/L	自動車燃料使用量 基準燃費21km/L	ガソリン使用量	L	2540.9	181.2L	162.L	182.79L	.L	.L	.L	
			燃費	km/L	20.6	18.9km/L	17.2km/L	24.km/L	.km/L	.km/L	.km/L	
			公共機関利用による削減	L	140							
製造	廃棄物等総排出量	廃棄物等総排出量	廃棄適正分別・マニフェスト管理	鈴木		○	○	○				受電設備改修のため産廃コンテナ回収設置あり
	廃棄物の適正分別 マニフェスト管理	廃棄物の適正分別 マニフェスト管理	シリコン・プラ/紙リサイクル 産廃回収	t	4回 1.25	-	-	-	産廃 0.312			
			産廃	t	1回 0.29	-	0.312	-				
			廃油	t		-	-	-				
	自ら生産・販売する 製品及びサービス 歩留まり 97%	自ら生産・販売する 製品及びサービス 歩留まり 97%	作業改善	%	98.40	○ 99.35%	○ 100.00%	○ 97.47%				
			歩留まり	%								
	化学物質使用量削減	化学物質使用量削減	水性塗料	鈴木(政)		○	○	○				
	シンナー使用料削減 (調色回数5回→4回)	シンナー使用料削減	調色回数を減らし洗浄シンナー使用料を削減する	kg	-	-	-	-				
環境	環境経営システムに 関る取り組み整備	更新審査	全体会議での実施説明、教育 ガイドライン事項の整備	山田		○	○	○				
	評価・確認 月日	評価・確認者	評価・確認事項(定期・臨時)	評 価 ・ 確 認 結 果 、 コ メ ン ト 、 是 正 処 置 等								
	2月6日 全体会議		環境システム	キュービクルPOB処理を行った。産廃コンテナー一時撤去している回数はカウントしない。								
	3月6日 全体会議		環境システム									
	4月10日 全体会議		環境システム									

9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

当社が実施した遵守評価の結果、過去一年間環境関連法規の違反はありませんでした。また近隣等からの指摘、クレーム、訴訟等も同様に一件也没有。



- ・廃棄物処理法 保管場所設定、掲示板設置、マニフェスト伝票回収
- ・PRTR法 該当物質あり、取り扱い量は申告値以下である。
- ・騒音、振動規制に関して、空気圧縮機の届け出済み。
- ・フロン排出抑制法 エアコン入れ替え適正処理。
- ・下水道法 該当施設はありません
- ・RoHS指令 該当物質なし。
- ・消防法 少量危険物取扱所の設置、届出の義務はなし。

環境関連法規一覧

1 廃棄物処理法	8 PRTR法 RoHS指令 (RoHS2)
2 騒音振動規制法	9 フロン排出抑制法
3 労働安全衛生法	10 製品含有化学物質管理 (chemSHERPA)
4 下水道法	11 消防法 少量危険物の貯蔵・取り扱いの基準
5 家電・小型家電リサイクル法	12 PCB特措法
6 有機溶剤中毒予防規則	13 水銀廃棄物ガイドライン
7 有機溶剤特別管理物質	14 神奈川県生活環境の保全等に関する条例

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

総括

今期も二酸化炭素排出量の削減目標を達成できました。

2024年は環境経営目標を更新しましたが照明機器のLED化と節水トイレ交換が年間を通して効果が表れ、工作機械の代替や稼働時間で電力使用量、水使用量とも削減できました。

営業活動が活発になり、ガソリン使用量は増加していますが、最盛期のガソリン使用量までには至っておりません。運転マナーの徹底で燃費向上に努めます。次年度の設備改善として高圧受電設備のPCB処理と空気圧縮機の代替を予定しています。

数値に大きな効果が出る施策ではありませんが
今後もカーボンニュートラル、カーボンオフセットを考慮し、環境経営マネジメントシステムを運用し、継続的改善を行い、事業の継続と地球環境への負荷の低減をはかり環境経営に努めてまいります。

代表取締役
成尾 勝則